

SISTER  
CITIES  
NEWS

# 姉妹・友好都市ニュース

International Friendship

Association of Ibaraki

vol.38 2002. 5.11

茨木市国際親善城市協会



世界各国の民族衣装を身にまとった参加者たち

〔国際交流の集い、本文は2・3ページ〕

## 目次

- 国際交流の集い、会員募集、市が内海町宿泊施設利用者に補助 ..... 2・3
- JICA研修員とのふれあい交流、茨木カンツリー倶楽部基金写真展を開催 ..... 4
- JICA研修員のホームビジット受入、英語スピーチ大会 ..... 5
- 内海町への市民訪問団、内海サッカースポーツ少年団 ..... 6
- 英語俳句コンテスト、姉妹都市活動室、青少年活動室 ..... 7
- 2002年度行事予定、2001年度国際交流の足あと、寄附 ..... 8



# 2002年国際交流の集い



素晴らしい日本舞踊の披露



ヘーゲル夫妻によるアンデス音楽の演奏



見事な踊りにうっとり

## 手作りの民族衣装で ファッションショーに参加

中村ジョイ (フィリピン)

2002年1月27日(日)は茨木市国際親善都市協会の国際交流の集いでした。パーティーとファッションショーとスピーチコンテストがありました。I I Nの先生たちにたのまれたとき、困りました！私の日本語はまだまだ上手ではないから、スピーチコンテストには出られないと思いました。ファッションショーに出る時はもっとかんたん。じゅんぴは服だけです。でも、自分の国の服を着なければなりませんでした。フィリピンの服がありますけど長い間着ていませんから、きつくなりました。ダイエットしなければなりませんでした。

「バロンタガログを着て、ファッションショーと一緒に出ましょう」と主人におねがいしました。最初は無理だと言いましたが、あとでOKしてくれました。私は手作りでもらさき色のバロ(ワンピースドレス)とサブライ(かざりおび)とベージュキモナを着ました。みんなは主人もフィリピンの人だと思いました。



中村さん夫妻、左がジョイさん

## きんちょうのスピーチの後に…

森田シーカム (タイ)

私は家の近くの老人ホームへ2年前からボランティアに行っています。老人ホームには面白い所や楽しい所がないので、私が行っておじいちゃんやおばあちゃんといっしょにいろんな話をしたら、みんな楽しそうです。私は時間がある人は老人ホームにあそびに行っておきたいと思って、このことを話すことにしました。

スピーチの時、すごくきんちょうしました。200人くらいの前でスピーチをしました。家族も聞きに来ました。スピーチがおわったら、みんなはくしゅしてくれて、とてもうれしかったです。そしてボランティアの方もよかったよと言ってくれました。

主人のお父さんとお母さんは「よかったなあ、やさしくていいお嫁さんもらって」と言ってくれました。

(やった!) 毎日、スピーチの練習をしました。でも、スピーチに出る前、すごくきんちょうして小さいビールを1本飲みました。(ごめんなさい)

これからも、日本語がもっと上手になりたいと思います。







アレクセイ・パルキンさん(ロシア)



プナム・コーシックさん(インド)



ジェフ・ロックウェルさん(カナダ)



チャンダボーン・ポーサイさん(ラオス)



ディラン・カーンさん(アメリカ)

## ファッションショーや日本語スピーチで交流

1月27日、市役所南館で「2002年国際交流の集い」を開催し、市民と市内在住外国人約200人が参加し、交流を図りました。

集いは、第1部の外国人による日本語スピーチ大会で開幕。8か国10人の発表者が、自国の食文化や日本での経験などを流暢な日本語でスピーチしました。

第2部では、今回初めてファッションショーを行い、ハンガリー、メキシコ、韓国、中国、タイ、ラオス、マレーシア、バングラデシュ、フィリピン、ベトナムの10か国の民族衣装が披露され、参加者は世界各国の素晴らしいファッションにうっとりしていました。

続いて、ペルー出身で、フォルクローレグループのヘーゲルさんと奥さんのサチコさんが、「コンドルは飛んでいく」などアンデスの音楽3曲を演奏、会場いっばいに手拍子が鳴り響きました。

他にも、日本舞踊花柳流と藤間流の皆さん4人の踊りが披露され、「艶っぽい踊り」に参加者は酔いれました。

第3部では、スピーチ発表者や出場者などが各テーブルで“交流の花”を咲かせ、終始和やかな雰囲気集いとなりました。



森田シーカムさん(タイ)



西村リタさん(中国)



リョウ ハンハン  
梁 盼盼さん(中国)



チャン ウジン  
張 宇軫さん(韓国)



シュ ショウメイ  
朱 曉梅さん(中国)

### 会員募集

本協会では、姉妹・友好都市交流をはじめ、国際交流に興味を持っておられる方々の入会をお待ちしています。

会員には、年2回発行する協会報や、協会が催す交流行事のご案内をいたします。

〈年会費〉 個人会員(一般)2,000円(学生)1,000円  
団体・法人会員1口5,000円

〈申込先〉 協会事務局(市役所南館8階 市民生活部  
市民活動推進課内)

(TEL. 20-1604)

### 市が内海町宿泊施設利用者に補助

姉妹都市内海町との交流促進を図るため、内海町の宿泊施設を利用する市民の皆さんに対し、宿泊費用の一部を市が補助する制度があるのをご存じですか? 補助額(1泊)は、中学生以上3,000円、小学生1,500円で、1人につき年間2泊分まで補助されます。詳しくは、市民生活部市民活動推進課へお問い合わせください。(TEL. 20-1604)



# JICA研修員と 市民との

# ふれあい交流

## 笑いが絶えない和やかな交流に

通訳ボランティア (IIN) 廣原 知津子

今回初めて3月16日に行われた「ふれあい交流」に通訳ボランティアとして参加する機会を得て、市民レベルの交流の大切さを実感した貴重な一日を体験しました。

2台のバスに分乗し、「健康増進センター」へ出発、センターでは、各室の説明を受けました。特に、胃部X線検査室が最も興味深く、研修員の方々が所員の説明を熱心に聞き入っている真剣な眼差しがとても印象的でした。

午後の訪問先は「国立民族学博物館」で、館内は自由行動だったため、集合時間を聞くと皆さんあっと言う間にいなくなりました。ブースに座ってビデオの画面から出身国の説明を受けているグループもあり、笑い声があちこちのブースから上がり、和やかな雰囲気に包まれました。

そして、最後は大阪国際センターでの懇親会です。この頃には皆さんの間に一体感が生まれ、昼食時に決めた出し物をグループごとに発表するショータイムでは、歌あり、踊りありの楽しい一時を共に過ごしました。

国際交流という大上段に構えたものではなく、小さな地球村の市民と研修員の方々とのふれあい交流は、自然体で、春の陽光の日だまりのような温もりを私の心の中に残してくれました。参加された皆様に、ありがとうございますの花束を贈ります。



緊張の血圧検査



参加者全員でパチリ

### 茨木カンツリー倶楽部青少年国際交流助成事業基金

## 中央図書館で写真展を開催

(社)茨木カンツリー倶楽部の青少年国際交流助成事業基金をもっと知ってもらおうと、3月22日から25日まで、中央図書館で平成13年度事業の写真展を開催しました。

ミネアポリスを訪れた少年サッカーチームやキャンプ交流訪問団、モンゴルで公演した「たんぽぽ少年少女合唱団」、内海中学校のサッカーチームなどの写真58点が展示され、訪れた多くの市民が足を止め見入っていました。





## JICA研修員のホームビジット受入

## メールを交換し合う友人に

岡本 陽子

カメルーンから日本に研修に来られた国家公務員のシェイ氏を、2月16日わが家にお招きしました。私達（夫と私と娘二人）は彼の国への付け焼き刃の貧しい知識と片言のつたない英会話で対応



岡本さん一家と家の前で

しましたが、彼は公用語が英語なので何とかコミュニケーションを取ることができました。

狭い家の中を案内し、庶民の暮らしぶりを見てもらいました。また娘達がお茶を立て、お琴を演奏し、少しではありますが、日本の伝統文化にも触れてもらうことができました。

私達のホームビジットの受け入れは前回のネパールのジワン氏に次いで二人目です。まだ慣れてなくて緊張しますし、英会話力の乏しさに申し訳ない気持ちですが、ジワン氏もシェイ氏ともメールを交換し合うよき友人になっています。草の根レベルでの国際交流のお役に立つことができることはやりがいがあり、大変うれしいです。

昨年11月3日、「第18回英語スピーチ大会」を開催し、中学生は暗唱文「Tommy's Hobby」を、高校生は自由テーマでスピーチを披露しました。

会場からは「子どもたちの暗唱力・表現力の素晴らしさに感動した」という声が聞かれました。

高校生の部では、オーストラリアでホームステイを体験した時の驚きを流暢な英語で堂々と発表した山口君が1位になりました。

## 【中学生の部】

- 1位 小澤 愛子（市立養精中学校3年生）
- 2位 竹島久美子（市立東中学校3年生）
- 3位 南 悠（市立平田中学校3年生）

## 【高校生の部】

- 1位 山口 聖吾（府立箕面高校1年生）
- 2位 村木 智湖（大阪市立東高校3年生）
- 3位 森垣 尚美（同志社女子高校3年生）

レベルの高い大会に驚きの声!!



中学生の部1位の小澤さん（写真左）

高校生の部1位の山口くん（写真右）



出場者全員で記念撮影



# 内海町への市民訪問団

うちのまちよう

## 人情味あふれる 歓迎に感謝

市民訪問団一行 20 名が 11 月 27 日(火)から 28 日(水)まで、姉妹都市・内海町を訪問。姫路港から福田港へは、1 時間 40 分で到着。ガイド役として内海町職員 2 名が出迎えていただき、巧みな話術で内海町の歴史や名所等を紹介し、茨木市からの訪問者を楽しませてくれる。

さっそく、一行は、日本三大渓谷美の一つである寒霞渓を訪れ、紅葉の錦を満喫。「今年は、天候の関係もあり、まあまあである」とは、地元の方の話。来年もすばらしい紅葉が見られることを期待しつつ、出発。オリーブ公園では、浜口議長、吉岡助役をはじめ、内海町の方々が「茨木市の皆さん ようこそ内海町へ」の横断幕を掲げ、心温まる歓迎に全員が感激する中、浜口議長から「2 日間ですが、内海町を十分楽しんでください」との挨拶を受け、団長の若林内海町委員会委員長から「第二のふるさと内海町へ帰ってまいりました。熱烈な歓迎に心から感謝

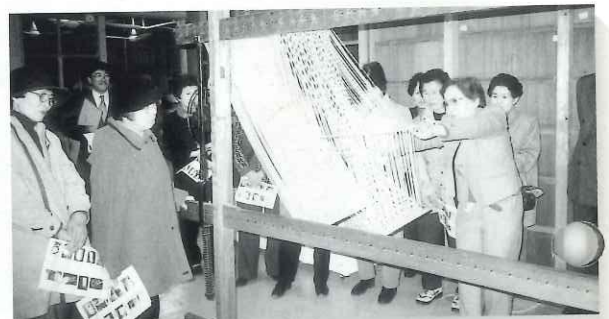
とお礼を申し上げます」と挨拶。歓迎会では、ハーブ茶のもてなしにより、雰囲気が和み、一行は楽しい時を過ごし、内海町の皆さんとの交流が図られた。次に、特産品のそうめんの工場を訪れ、数人の方が「箸分け」を体験し、感動されていたのが印象的であった一日目が終了。

翌日は、特産品である佃煮の工場見学の後、昭和初期にタイムスリップしたような「岬の分教場」と、あの感動の名作がよみがえる「二十四の瞳映画村」を訪れた。さすがに、全国的に有名な所でもあるので日本各地からの観光客が多数見受けられ、盛んに写真を撮っていた。最後に訪問したのは、3 年前にオープンした天然温泉付きのキャンプ場(オートビレッジ吉田)。訪問団の数人が入浴し、全員が内海町の人情味あふれる歓迎に心から感謝するとともに、疲れもとれ、リフレッシュできた訪問であったと感想を述べられた。

“青い海・美しい風景”、そして、なによりも茨木市民を温かく迎えていただいた内海町の皆さん、次回も市民の皆さんの参加をお願いして訪問の報告とします。(事務局)



温かいもてなしに感激の訪問団員



そうめん工場で箸分けを体験

### 内海サッカースポーツ少年団

内海町のサッカースポーツ少年団(11 歳から 12 歳の 17 人)が、3 月 31 日に万博記念競技場で行われた J1 リーグの「ガンバ大阪対浦和レッズ」の前座試合に出場し、金沢市の代表チームと対戦しました。

内海町の坂下町長、谷岡教育長もスタンドから応援。結果は 1 対 2 で敗れましたが、試合に出場した選手たちは、プロが公式試合をする“ふわふわの芝生”のピッチでサッカーができるという、夢のような体験ができ、大感激していました。

### “ガンバ大阪”の 前座試合に出場



夢のピッチは最高でした!!



## 2002年度英語俳句コンテスト入賞作品決定

今年、spring（春）をテーマにした俳句がミネアポリスから送られてきました。

高校生の部の俳句は、甘い雨、唇に触れる雨、目に映る日の出など、春を感覚的に捉えています。sweet-sun-springのs音と、rain-rises-hereのr音の柔らかさ、1行目のsweet rain touch

### 【幼稚園・小学生の部】

A distant croak of  
a green-as-grass frog sitting  
on his lily pad  
睡蓮の浮葉で  
鳴く青蛙の  
声遠く

### 【高校生の部】

Sweet rain touch my lips,  
The sun rises in my eyes,  
Spring here today  
甘い雨が唇に触れ  
太陽は私の目の中で昇っていく  
春が今日やって来た

my lipsの1音節の歯切れの良さが心地よいリズムです。春の到来の喜びが作者独自の感性で表現されています。

各部門の1位に選ばれた作品をご紹介します。

(翻訳：朝日大学 助教授 吉村侑久代)

### 【中学生の部】

Earth awakening  
From winter's hibernation  
The ground emits yawns  
冬眠から  
大地が目覚める  
地面が穴を広げる

### 【成人の部】

nesting in fresh twigs  
sparrow sings sweet lullabye  
hatching new offspring  
小枝に巣作り  
雀がさえずる子守歌  
新しい生命を抱きつつ

## Ibaraki Intercultural Network(IIN)

### 姉妹都市活動室

姉妹都市活動室では、月2回の例会で英語力の維持・向上を目指し、各国からの講師を招いて英語による講演や討議等を行っています。

また、市役所の国際交流サロンで、週2回、「実用日本語学習会」を行い、学習者のレベルに合わせて日本語学習の支援をしています。



JICA 研修員とひなまつりの会

## We Are Friends!

### 青少年活動室

季節のイベントや英語で自己紹介など、毎月違ったテーマでナマの英語に触れられる“*We Are Friends*”に参加しませんか？小学4年生から中学生は無料で参加できます。

また、青少年活動室のスタッフを募集しています。活動に賛同して下さる方ならどなたでも大歓迎です。ぜひ一度気軽に遊びに来てください。



クリスマスパーティー



## 2002年度行事予定

新しい世紀も2年目を迎えました。本協会の国際交流活動は従来の都市間交流から、より多彩なプログラムに発展しようとしています。

本年度の行事計画は以下のとおりですので、会員の皆様のご参加を心からお待ちしております。

- |   |  |
|---|--|
| 5月・内海町で「オーリーブマラソン」開催<br>・安慶市からの視察団来茨                      | 11月・「英語スピーチ大会」開催<br>・ミネアポリス市からの市民訪問団受入                   |
| 6月・協会ゴルフコンペ開催   | ・内海町への市民訪問団派遣  |
| 7月・ミネアポリス市への市民親善訪問団、英語学習ツアーの派遣<br>・ミネソタ州日本語村へキャンプカウンセラー出発 | 2003年<br>1月・国際交流の集い開催                                    |
| 9月・JICA研修員との「ふれあい交流」実施                                    | 3月・JICA研修員との「ふれあい交流」実施<br>・安慶市へのスポーツ訪中団(中学生の水泳・卓球チーム)の派遣 |
| 10月・安慶市への市民親善訪中団派遣  |  |

## 2001年度国際交流の足あと

- 5月・ミネアポリス市からの姉妹都市提携20周年記念品「サウンド・ブリッジ」除幕式。制作者ノーマン・アンダーセン夫妻ほか出席
- 6月・韓国・馬山青年会議所一行13人山本市長表敬訪問
- 7月・「安慶市経済視察団」一行8人来茨。市内食品関係会社等を視察  
〔写真上〕
- ・「茨木市少年サッカーチーム」一行20人ミ市訪問。USA杯参加
  - ・「内海中学校サッカー部」一行23人来茨。市内中学校で親善試合
  - ・「茨木市代表団」一行2人ミ市訪問。姉妹都市提携20周年記念品「双珠の鐘」除幕式に出席〔写真中〕
  - ・「茨木市キャンプ交流訪問団」一行29人ミ市訪問
- 10月・「茨木市民親善訪中団」一行7人安慶市訪問
- ・「内海町合併50周年記念式典」に山本市長、福井議長など出席
- 11月・「第44回幼・小・中学校園総合展」において、ミネアポリス市・安慶市・内海町からの美術作品を展示〔写真下〕
- ・フルブライト・メモリアル基金米国教育関係者一行20人来茨。
  - ・安慶市長を団長とする「安慶市友好代表団」一行5人来茨



### 寄附

本市の国際交流事業の推進のためにと次の方から温かいご寄附をいただきました。ご厚志に心からお礼申し上げます。(12月～4月、敬称略)  
〈市へ〉12月 社団法人茨木カンツリー倶楽部(500万円)

### 編集・発行

#### 茨木市国際親善都市協会

事務局:茨木市市民生活部市民活動推進課内  
〒567-8505  
茨木市駅前三丁目8番13号  
TEL.0726-20-1604 FAX.0726-22-7202